

令和5年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

I 概要

とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）の最終年度となる令和5年度は、各事業の着実な実行に努め、主に次の事項について取り組んだ。

令和3年度から運用を開始した人事管理制度については、人事考課結果のフィードバックを新たに実施するなど、制度の適切な運用及び定着を図った。人材の確保については、求人サイトの活用、オンライン就職説明会の開催、インターンシップの受入れ等に取り組むほか、年度中途の採用などにより、支援職員等の補充に努めた。さらに、適切な労働環境の整備に向け、労働時間の管理状況を確認するとともに、新たな勤怠管理システムの令和6年度からの導入を決定した。

法律上の位置づけが5類感染症とされた新型コロナウイルス感染症への対応については、基本的な感染防止対策を継続実施してきたところ、障害者支援施設において数件のクラスターが発生し事業運営に影響を受けたが、「コロナ禍からの脱却」に向けて各施設等の特徴を踏まえた事業を展開し、利用者に対する質の高いサービスの提供を図った。

とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいつくりセンターの運営については、令和6年度から10年間、指定管理者として選定されたことにより、今後の安定的な事業運営を進めることが可能となった。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に取り組みながら、広報の強化やシルバー大学校の学生及び卒業生へのアンケート等を通して、サービスの質の向上に努めた。

このように、法人として取り組むこととした事業については概ね実行してきたところであるが、協会の更なる「成長と発展」を目指すため、三期計画の検証結果を踏まえ、令和6年度からの5年間の期間とする基本計画（四期計画）を策定した。この計画のスローガン「わたしがつくる みんなでつくる 笑顔あふれる とちぎ健康福祉協会」を合言葉に、職員一人ひとりが共通認識を持ち、一丸となってその実現に向け取り組んでいく。

II 総務福祉部所管事業

1 総務課

(1) 事業執行概要

協会を取り巻く課題を解決し、更なる「成長と発展」を図るため、令和6年度を初年度とする5か年計画「とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）」を策定するとともに、各施設等と連携しながら、同基本計画（三期計画）に基づいて各種事業を実施した。

人事管理制度については、評価研修や面談研修を実施したほか、本格運用に向け、人事考課の決定や考課結果のフィードバックに係る制度を整備し、フィードバック研修や人事考課者ミーティングを実施するなど、適切な運用及び制度の定着化に努めた。

また、雇用に関しては、再雇用制度や嘱託職員の雇用上限年齢を見直し、働く意欲のある職員がやりがいを持って能力が発揮できるよう制度の充実を図るとともに、処遇改善と均衡処遇を図るため、臨時処遇改善手当や役職手当の見直しを行った。

人材の確保については、年度当初から欠員が続いたため、WEB 就職説明会や施設見学を実施し、職員採用試験を複数回実施するなど確保に努めた。さらに、求職者向け動画の作成やインターンシップの実施など、新たな取組を行った。

事業継続計画(BCP)の策定については、施設等連絡調整会議を活用し、感染症版と自然災害版をそれぞれ整備した。

労務管理については、勤務時間の適正な管理を徹底するべく法令遵守に努めるとともに、令和6年度から新たな勤怠システムを導入をすることとした。

障がい者支援センターふれあいの建替整備については、計画に基づき設計業務を開始したが、令和6年度社会福祉施設等施設整備費国庫補助金申請の不採択に伴い、令和7年度を完成年度とするスケジュールに見直しを行い、併せて施設機能の強化等を図ることとした。

(2) 事業実績

ア 職員研修の実施

開催年月日	内容
令和5年4月20日～21日	令和5年度新規採用職員研修（前期）
令和5年8月25日	人事考課者研修（評価研修）
令和5年9月20日	人事考課者研修（面談研修）
令和5年9月28日	第1回事務担当者研修会
令和5年10月26日	令和5年度新規採用職員研修（後期）
令和5年11月16日・24日	人事考課者研修（フィードバック研修）
令和6年1月31日	人事考課者研修（人事考課者ミーティング）
令和6年3月11日	採用内定者研修
令和6年3月14日	第2回事務担当者研修会

イ 職員採用の実績

(ア) 令和5年度中採用

職種	試験方法	実施時期	採用日	採用人数
支援職	競争試験	令和5年4月	令和5年5月1日	1名
	競争試験	令和5年6月	令和5年8月1日	1名
	競争試験	令和5年8月	令和5年9月1日	1名
資格職〔看護師〕	競争試験	令和5年12月	令和6年1月1日	2名
計				5名

(イ) 令和6年4月1日採用

○ 新規採用

職種	試験方法	実施時期	採用人数
支援職	第1回 競争試験	令和5年8月	支援職3名
事務職	第2回 競争試験	令和5年11月	支援職1名 保育職2名
保育職	第3回 競争試験	令和6年2月	支援職1名 事務職3名
資格職〔看護師〕	競争試験	令和6年3月	1名
資格職〔管理栄養士〕	競争試験	令和6年3月	1名
計			12名

○ 嘱託職員から正職員への登用

職種	実施時期	採用人数
支援職	令和6年2月	5名

(ウ) 人材確保の取組

○ インターンシップの実施

学生を対象としたインターンシップの実施（参加者3名）

○ 求職者向け動画の作成

職員インタビュー動画の作成、法人紹介動画の作成

○ 無料求人サイトの活用

ハローワーク、福祉人材センター、求人検索エンジン「Indeed」等

○ 職能団体ホームページへの掲載

栃木県看護協会、栃木県栄養士会

○ スカウト求人サイトの活用

医療福祉の求人サイト「ジョブメドレー」のスカウト活用

○ 就職説明会への参加

福祉のお仕事就職フェア、看護職のための就職説明会、専門学校等対象合同企業説明会

○ 就職説明会等の実施

Zoomを活用したオンライン説明会（7回）、施設見学（18回）

○ その他

SNS「Instagram」の更新、ホームページの充実、内定者説明会、内定式の実施

ウ 評議員会の開催

回数	開催年月日	内容
第75回	令和5年4月1日	役員の選任について
第76回	令和5年6月23日	令和4年度とちぎ健康福祉協会決算について 他
第77回	令和6年3月26日	令和6年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他

エ 理事会の開催

回数	開催年月日	内容
第108回	令和5年4月1日	理事長の選定について
第109回	令和5年6月8日	令和4年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 他
第110回	令和5年6月23日	理事長の選定について 他
第111回	令和5年12月8日	令和5年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 他
第112回	令和6年3月19日	令和6年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他

オ 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	内容
令和5年6月23日	評議員の選任について
令和6年3月26日	評議員の選任について

カ 監事監査の実施

開催年月日	内容
令和5年5月25日	令和4年度事業執行及び決算

キ 課長施設長等会議の開催

回数	開催年月日	内容
第1回	令和5年4月24日	令和5年度事業計画について 他
第2回	令和5年8月21日	とちぎ健康福祉協会基本計画基本方針等について 他
第3回	令和5年10月23日	人事考課制度の運用について 他
第4回	令和6年1月24日	とちぎ健康福祉協会基本計画（案）について 他

ク 施設等連絡調整会議の開催

回数	開催年月日	内容
第1回	令和5年4月25日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 事業継続計画（BCP）の策定について 他
第2回	令和5年5月23日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 嘱託職員の雇用に係る規定について 他
第3回	令和5年6月21日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について コロナウイルス感染症に係るサービスの取扱いについて 他
第4回	令和5年7月3日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 他
第5回	令和5年8月2日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 事業継続計画（BCP）の策定について 他
第6回	令和5年8月29日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 人材育成制度の見直しについて 他
第7回	令和5年10月11日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 嘱託職員の雇用に係る規定について 他
第8回	令和5年10月24日	人事考課制度の運用（案）について 嘱託職員の雇用に係る規定について 他
第9回	令和5年12月27日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 嘱託職員に係る待遇差の説明について 他
第10回	令和6年2月9日	とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）について 嘱託職員の雇用の上限年齢の見直しについて 他

2 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子のDV被害からの退避や回復、親子関係の再構築や社会的な自立の促進などの取組を強化しながら、母子が健全な社会生活を営めるよう支援した。

新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の5類感染症に位置付けられた後も引き続き感染予防対策を行いながら、外出や行事の充実を図り、概ね新型コロナウイルス感染症流行前の内容に近い形で実施することができた。

入所世帯の確保及び施設機能の活用ため、関東圏の福祉事務所等にダイレクトメールの発送を行うとともに、栃木県内の福祉事務所等を訪問し、ニーズ調査等を行った。その結果を踏まえ、受入対象者の拡充を行い、低体重出生児や重度心身障害児、特定妊婦など、重複した障害のある世帯の受入れも積極的に行った。医療機関や障害分野の関係機関との連携の強化及び社会資源の活用により、これまで以上に生活環境の調整や受入体制の整備を迅速に行った。

また、受入対象者の拡充に伴い、職員の知識及び支援技術の向上と支援等に関する不安解消を図るため、助産師や発達障害を専門とする講師による施設内研修を実施した。積極的な受入れと支援技術等の向上により、8世帯の新規入所と6世帯の自立した社会生活に向けた退所に繋ぐことができた。

さらに、福祉事務所等へのニーズ調査等から、令和6年度の新規事業として、子育て短期支援事業（ショートステイ）の実施に向け検討を行った。

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

- 母子支援員及び個別対応職員による母子の良好な関係構築
- 心理療法担当職員による母子の心のケアを実施
- 入所予定の世帯のニーズに必要な支援体制の確保
- 母親のニーズに応じた施設内保育の実施
- 母親の就労に向けた資格取得支援、民間事業者と連携した就労支援の実施
- 子どもの健全な育成を目指した学習支援や体験活動の実施
- 貧困連鎖防止を図るための母親教養講座や季節の行事の実施
- 常直体制による夜間の安全確保
- 関係機関との緊密な連携による利用者の保護や自立支援の実施
- 感染症版及び自然災害版の事業継続計画（BCP）の策定
- 災害時における利用者の安全を確保するための備品の整備

② 自主自立経営の確立

- 新規事業に向けてのニーズ、社会情勢、実施可能事業の調査・検討
- 加算算定要件となる研修の受講による運営費の増収
- 記録管理システムの活用による事務の効率化

③ 地域社会への貢献

- 委託事業の一時保護事業、独自事業の緊急一時利用の受入

(2) 事業実績

ア 母子生活支援施設 定員 20 世帯

年度別 区分	令和 4 年度			令和 5 年度		
	年間延利用者 数 (月単位)	月平均	稼働率 (%)	年間延利用者 数 (月単位)	月平均	稼働率 (%)
世帯数 (世帯)	165	13.8	69.0	179	14.9	74.6
家族人数 (人)	450	37.5		497	41.4	
母親 (人)	165	13.8		179	14.9	
児童 (人)	285	23.8		318	26.5	

イ 年度末の入所利用者の状況 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

(ア) 母親の状況

(人)

区 分	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代以上	合 計
母親		4	3	7	2	16

(イ) 世帯当たりの人数

(世帯)

区 分	2 人	3 人	4 人	5 人以上	合 計
世帯数	8	5	2	1	16

(ウ) 児童の状況

(人)

区 分	未就学児	小学生	中学生	高校生以上	合 計
児童	8	14	6	1	29

ウ 一時保護受託事業

区 分	令和4年度	令和5年度
年間延利用日数（日）	53	120
実世帯数（世帯）	1	5

エ 緊急一時利用事業

区 分	令和4年度	令和5年度
年間延利用日数（日）	0	8
実世帯数（世帯）	0	1

オ 実施行事

時期	内 容
4月	○入学祝
5月	○端午の節句 ○母の日イベント ○母と子のつどい（東京ディズニーシー）
6月	
7月	○母親教養講座（第1回） ○七夕 ○流しそうめん
8月	○夏休み体験学習（東京スカイツリー） ○ラジオ体操 ○親子調理教室
9月	○わかくさお楽しみ会
10月	
11月	○母と子のつどい（東武動物公園） ○七五三のお祝い ○親子ふれあい体験（壬生わんぱく公園） ○母親教養講座（第2回）
12月	○クリスマス ○正月準備
1月	○書初め大会
2月	○節分
3月	○ひなまつり ○親子ふれあい体操 ○小学生調理体験

時期	内 容		
定例	○書道教室（月2回）	○英語教室（月2回）	○学習支援（随時）
	○お絵かきクラブ（月1回）	○セカンドステップ（月2回）	○保育サロン（月1回）
	○母親常会（偶数月）	○子ども常会（随時）	○施設内保育（随時）
	○日本語教室（月2回）	○蒲公英発行（月1回）	○誕生祝（随時）
	○学生施設実習（随時）		

カ 関係機関との連携

- (ア) 福祉事務所との連絡会議（来所又は個別のZoom面談対応）
- (イ) 保育園との連絡会議（宝木保育園：個別の面談対応）
- (ウ) 小学校との連絡会議（晃宝小学校：個別の面談対応）
- (エ) 中学校との連絡会議（国本中学校・のざわ特別支援学校：個別の面談対応）

3 桜ふれあいの郷

(1) 事業執行概要

利用者の権利擁護に努め、自己選択や自己決定の意思及び人格を尊重するとともに、個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進するよう、サービスの提供に努めた。

新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の5類感染症に位置付けられた後も引き続き従来の感染予防対策を継続したが、4件のクラスターが発生し、利用者延55人職員延16人が罹患し、事業運営に多大な影響を受けた。一方で、利用者家族や地域との交流活動の再開に取り組み、オンライン又は窓越しでの面会のみで制限していた利用者本人と利用者家族との交流は、施設内での対面による面会や施設敷地内での散歩の実施へと制限を緩和し、更にドライブ等の外出、短期間の外泊と徐々に緩和を拡大した。また、各支援グループにおいて提供する行事として、栃木県障害者スポーツ大会への参加や近隣行楽地への外出、旅行等を実施し、社会参加活動を再開したほか、ボランティア受入れによるチャリティー公演等も実施した。これらの取組は、利用者の生活の質を向上させるだけでなく、コロナ禍で損なわれた施設と利用者家族や地域との関係の再構築の足掛かりともなった。

また、過年度の利用者虐待事案の反省に基づき、利用者支援の向上と職員にとってやりがいを感じられる職場を目指す「桜ふれあいの郷再出発計画」の着実な実行に取り組んだ。年度当初から、副所長・センター長部会と、各グループ職員からなるグループ・センター部会を立ち上げ、全職員を巻き込んだ議論を行い、「しあわせの追求」を大きな柱とする新たな施設理念を掲げた。今後は、理念の実現に向けて各グループ・センターにおける具体的な行動指針を策定するとともに、計画の更なる実行を推進していく。

令和3年度から現施設での事業運営開始となり、建替整備に伴う利用者支援の課題に対応するため支援方法の工夫や必要に応じて設備の修繕を継続した一方、夜勤職員をはじめとする従前の支援体制の確保や広大な旧建屋跡地の管理において課題を残した。

障がい者支援センターふれあいにおいては、主として共同生活援助事業における体験利用の積極的な受入れ、相談支援事業における地域生活支援拠点事業や重層的な支援体制整備への参画、障害者就業・生活支援センターにおける移動相談の継続的な実施等に力を入れてきた。また、共同生活援助事業での支援の質の維持及び向上、相談支援事業での専門職の配置や困難ケース及び緊急ケースへの対応、障害者就業・生活支援センター事業での就労に繋がらないケースへの対応等への課題に対し、関係機関・行政・企業等と連携して対応し、質の高いサービス提供を目指した。

同センターふれあいの建替整備については、地域における福祉サービスの拠点のひとつとして、ハード・ソフト両面の機能強化に向け、設計等の再検討を行うこととした。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 虐待防止委員会及び虐待防止対策部会（専門の下部組織）の定期開催、同組織を中心とした虐待防止・権利擁護の徹底
- 職員倫理綱領、職員行動指針の遵守の徹底
- 適切なモニタリング等の実施による利用者の意思確認、支援内容への反映
- グループ等の枠を越えたケース検討による支援の質の向上への取組
- 苦情解決第三者委員の虐待防止委員会への参加、意見の聴取

イ 安全で快適な利用環境の確保

- インシデント・アクシデントの早期発見、原因分析の実施によるリスクマネジメントの徹底
- 新型コロナウイルス感染症に係る基本的な感染予防対策の徹底、衛生用品等の整備、陽性者発生を想定した支援体制及びゾーニング計画の検討等
- 感染症版及び自然災害版の事業継続計画（BCP）の策定

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

- サービス管理責任者等の養成研修、利用者の重度化・高齢化に対応した支援・医療ケア技術の習得研修等への職員の派遣
- 風通しのよい職場づくりに向けたコミュニケーションの活性化

エ 情報公開の推進

- 利用者家族等への支援状況の報告や新型コロナウイルス感染症陽性者発生時の速やかな情報提供
- ホームページのリニューアル及び年間行事等の記事の適宜更新
- かじかさわ通信の発行（年1回）

② 自主自立経営の確立

- 省エネ、経費節減に配慮した施設設備の調整
- 電力供給契約の見直しによるコスト削減
- 適切な利用調整の実施

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- 施設実習や福祉インターンシップの受入れ

イ 施設の特性を活かした地域貢献活動

- 栃木県障害施設・事業協会のセーフティネット拠点事業の継続実施
- いちごハートねっと事業への参加（継続）
- さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」の更新
- 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録
- さくら市地域生活支援拠点事業所の認定

(2) 事業実績

ア 児童施設

(7) 障害児入所施設（定員 15 名）

	令和4年度				令和5年度			
	年間延べ利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
延利用者数	4,698	365	12.9	85.8	4,594	366	12.6	83.7
内、措置人数	4,086	365	11.2		4,026	366	11.0	
内、契約人数	612	365	1.7		568	366	1.6	

(イ) 障害者支援施設（併設）（定員 生活介護 15 名 施設入所支援 15 名）

	令和4年度				令和5年度			
	年間延べ利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	3,654	261	14.0	93.3	3,629	260	14.0	93.1
施設入所支援	5,475	365	15.0	100.0	5,477	366	15.0	99.8

イ 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 135 名 施設入所支援 130 名）

	令和4年度				令和5年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護	30,846	261	118.2	87.5	30,009	260	115.4	85.5
施設入所支援	43,250	365	118.5	91.1	42,361	366	115.7	89.0

ウ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 40 名 就労継続支援B型 40 名 施設入所支援 40 名）

	令和4年度				令和5年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護	8,012	261	30.7	76.7	7,741	262	29.5	73.9
就労継続B型	9,565	261	36.6	91.6	9,510	263	36.2	90.4
施設入所支援	13,783	365	37.8	94.4	13,531	366	37.0	92.4

エ 障がい者支援センターふれあい

共同生活援助事業所（定員 54 名）

	令和4年度				令和5年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
共同生活援助	19,477	365	53.3	98.8	19,201	366	52.4	97.1

オ 年度末の入所利用者の状況（令和6年3月31日現在）

（人）

	児童施設 (障害児入所施設)	児童施設（併設） (障害者支援施設)	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援 センターふれあい
10歳未満	3	0	0	0	0
10代	8	0	2	0	2
20代	0	6	4	1	7
30代	0	4	10	2	6
40代	0	4	23	13	6
50代	0	1	27	11	11
60代以上	0	0	48	10	22
合計	11	15	114	37	54
平均年齢（歳）	13.4	33.3	56.5	52.7	51.8
平均障害支援区分	—	5.33	5.56	4.41	3.5

カ 短期入所（定員 児童施設1名 生活支援施設3名 就労支援施設1名）

（人）

区分	令和4年度			令和5年度		
	児童	生活	就労	児童	生活	就労
年間延利用者数	12	396	0	10	150	0
実利用人数	3	6	0	3	4	0

キ 日中一時支援事業（定員15名）

（人）

区分	令和4年度	令和5年度
年間延利用者数	1,403	1,353
実利用人数	10	15

ク 一時保護受託事業

（人）

区分	令和4年度	令和5年度
年間延利用者数	150	73
実利用人数	2	3

ケ 障がい者支援センターふれあい実施事業

事業名	区分	令和4年度	令和5年度	備考
職場適応援助者 (ジョブコーチ) 支援事業	利用者支援 (件)	13	43	訪問型職場適応援助者 1名
	ケース会議等 (件)	3	5	
障害者就業・生活支援 センター	相談支援件数 (件)	1,870	1,933	就業支援担当者 3名 (専従3) 生活支援担当者 1名 (専従1)
	職場実習件数 (件)	28	25	
	就職件数 (件)	36	35	
	相談・支援を行った事 業所数 (か所)	161	159	
	事業主相談・支援件数 (件)	1,216	1,387	
相談支援事業	計画相談支援 (件)	939	889	サービス利用支援 161件 継続サービス利用支援 728件
	障害児相談支援 (件)	80	60	サービス利用支援 28件 継続サービス利用支援 32件
	地域相談支援 (件)	8	0	
	障害者相談支援事業 (件)	1,093	1,336	さくら市受託事業
	障害支援区分認定調査 業務 (件)	25	47	さくら市受託事業

コ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
受託加工	Tシャツやポロシャツ、エコバッグ等へのプリント加工、自動車部品のバリ取り、餃子の箱組立て、ラテックス手袋たたみ、パンフレット差込み、シール貼り、餃子のタレ袋詰め、ポリポットシール貼り
除草作業	敷地内緑地等の除草作業 (8箇所)
焼き菓子・ パン製造販売	焼き菓子：所内外及びクリスマス等季節のイベントギフトの製造販売、無人販売 パン：イベント等での出張販売、施設内給食への販売、所内外への注文販売、無人販売
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング
リサイクル	アルミ缶等の回収・リサイクル
その他	寄せ植えプランターの作成

(イ) 利用者工賃 (1人当たり平均工賃月額)

(円)

項目	令和4年度	令和5年度
1人当たり平均工賃月額	13,763.2	17,787
目標工賃月額	13,000	15,000

サ 実施行事

時期	自立	生活	就労	障がい者支援センター ふれあい
4月	○南那須特別支援学校 入学式	○食事会	○食事会	○花見
5月	○外出	○食事会 ○外出	○食事会	○外出
6月	○食事会 ○外出	○食事会 ○外出 ○センター映画会	○食事会	○映画鑑賞会
7月	○外出	○食事会 ○外出 ○七夕会	○食事会	○カラオケ大会
8月	○食事会 ○外出 ○学童夏まつり	○外出	○外出	○障がい者支援センター ふれあい交流会（ビン ゴ大会）
9月	○外出	○外出 ○栃木県障害者スポーツ 大会 ○花火大会	○外出 ○栃木県障害者スポーツ 大会	○栃木県障害者スポーツ 大会
10月	○郷まつり代替行事 ○外出	○食事会 ○外出 ○郷まつり代替行事	○花火大会 ○外出 ○郷まつり代替行事	
11月	○こぶし祭 ○外出	○食事会 ○外出	○外出	○郷まつり代替行事
12月	○クリスマス会 ○外出	○クリスマス会 ○外出	○チャリティー公演 ○クリスマス会	○クリスマス会
1月	○食事会 ○外出	○外出	○旅行① ○旅行②	
2月	○外出	○食事会 ○節分	○外出	○郷まつり代替行事
3月	○南那須特別支援学校 卒業式 ○食事会 ○外出	○食事会		○なかよし会総会

4 清風園

(1) 事業執行概要

利用者の権利を擁護し自己選択や自己決定を尊重しながら、自立と社会参加を支援することで、利用者の自己実現が図られるよう、提供するサービスの充実を図った。

新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の5類感染症に位置付けられた後も引き続き従来の感染予防対策を継続したが、2件のクラスターが発生し、利用者延16名、職員延9名が罹患し、事業運営に多大な影響を受けた。一方で、コロナ禍にあっても、実現可能な活動を模索し、四季折々の行事のほか、ドライブやお茶会、花火大会など、利用者の日常生活の充実に取り組んだ。

清風園就労支援施設においては、近年、在宅サービス等の充実などから入所利用ニーズが減少しており、入所利用者が定員に満たない状態が続いてきたため、今後、定員を満たすことは困難であると判断し、経営の安定を図ることと併せ、令和6年1月に入所定員を50名から40名に変更した。

「ノーリフティングケア」については、電動ベッドや移乗用ボードなどの設備、機器の導入と併せ、ケース検討により事例を積み重ねることでケアの浸透、拡大を図るべく取組を行ってきた。職員アンケートからは、介助者の負担軽減や利用者の安心感を実感する声が聞かれる一方、従来の手法からの転換が十分ではない現状もあり、引き続き職員の共通理解を図りながら取組を継続していくこととした。

また、利用者からのナースコールに速やかに対応するとともに、職員間の連絡体制を円滑にすることを目的に、両施設共通のコールシステムを導入することとし、令和6年度のシステム導入に向け、全棟においてWi-Fi環境を整備した。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 利用ニーズを踏まえた就労支援施設の定員の見直し（令和6年1月）
 - ・施設入所支援 50名から40名へ変更
 - ・生活介護 45名から40名へ変更
- 就労支援施設の日中活動等に関する在り方検討会の開催
- ドライブや花火大会などウィズコロナにおける行事等の企画、実施

イ 安全で快適な利用環境の確保

- ICT導入を見据えた全棟Wi-Fi環境の整備

- 機器の導入、事例検討などによるノーリフティングケアの継続実施
- 感染症版及び自然災害版の事業継続計画（BCP）の策定
- ウ 人材の確保及び職員の資質の向上
 - 施設の専門職と外部講師（言語聴覚士）の連携による誤嚥防止のための嚥下評価、研修の実施
- エ 情報公開の推進
 - ホームページのリニューアル
 - SNS や機関誌「きよかぜ」による情報発信
- オ 各施設・事業の連携による相乗効果の創出
 - 工賃向上に向けたシルバー大学校やとちぎ健康の森フェスにおける出張販売
- ② 自主自立経営の確立
 - ア 健康経営の推進
 - ノーリフティングケアの推進による職員の負担軽減
 - 様々な媒体を利用した求人活動及び人材の確保
 - イ 収入の確保と経費削減
 - 相談支援事業所との連携による利用者の確保
 - 可能な範囲での節電、節水への取組み
- ③ 地域社会への貢献
 - ア 福祉人材・支援技術の活用
 - 中学生による体験研修の受入れ
 - インターンシップの受入れ
 - イ 施設の特性をいかした地域貢献活動
 - いちごハートネット事業への継続参加
 - さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」の更新
 - 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録
 - さくら市地域生活支援拠点事業所の認定

(2) 事業実績

ア 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 53 名 施設入所支援 50 名）

区分	年度別	令和 4 年度				令和 5 年度			
		年間延べ利用者(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護		12,791	313	40.9	77.1	13,389	314	42.7	80.5
施設入所支援		16,560	365	45.4	90.7	17,314	366	47.4	94.6

イ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 45 名 労継続支援 B 型 20 名 施設入所支援 50 名）

（令和 6 年 1 月に定員変更 生活介護 40 名 就労継続支援 B 型 20 名 施設入所支援 40 名）

区分	年度別	令和 4 年度				令和 5 年度			
		年間延べ利用者(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護		9,502	261	36.5	80.9	9,051	260	34.9	79.6
就労継続 B 型		5,001	261	19.2	95.8	5,081	260	19.6	97.7
施設入所支援		15,235	365	41.8	83.5	14,399	366	39.4	82.8

ウ 年度末の入所利用者の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分	施設別	生活支援施設	就労支援施設
		10 歳未満	
10 代			
20 代		1 名	
30 代		5 名	
40 代		5 名	6 名
50 代		9 名	11 名
60 代以上		29 名	22 名
合計		49 名	39 名
平均年齢(歳)		62.0 歳	62.9 歳
平均障害支援区分		5.7	4.5

エ 短期入所事業（定員 生活 5名 就労 2名） (人)

区分	令和4年度		令和5年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	315	116	196	135
実人数	6	6	5	5

オ 日中一時支援事業（定員 生活 5名 就労 2名） (人)

区分	令和4年度		令和5年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	154	6	151	0
実人数	3	1	3	0

カ 就労支援事業

(7) 作業内容

種別	内容
受託加工	機械部品組み立て・箱詰め、線香箱詰め
自主製品製造販売	草木染、小物の製造及びイベント等における販売
リサイクル	段ボール、アルミ缶、古紙のリサイクル
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング、施設内の清掃

(イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額） (円)

区分	令和4年度		令和5年度	
	生活介護	就労継続支援B型	生活介護	就労継続支援B型
1人当たり平均工賃月額	6,226.9	16,377.6	3,929.2	18313.4
目標工賃月額		18,200.0		18,400.0

キ 実施行事

時期	生活支援施設	就労支援施設	共通
4月	○花見会 ○ドライブ外出	○お茶会	
5月	○園芸 ○ドライブ外出		○食事会（さくら会）
6月	○あじさい祭り	○ドライブ外出	
7月	○七夕祭り	○七夕の茶会	
8月	○夏祭り	○納涼茶会	
9月	○月見会 ○敬老を祝う会	○買物外出	
10月	○ハロウィン ○運動会	○お茶会 ○ミニ運動会 ○買物外出	○打ち上げ花火 ○食事会（さくら会）
11月	○園芸 ○秋祭り	○お茶会	
12月	○クリスマス・忘年会（自治会）	○食事会（自治会）	
1月	○新年会（自治会）	○新年会（自治会）	
2月	○節分		
3月	○ひなまつり	○お茶会	
定例	○カラオケクラブ		

5 宝木保育園

(1) 事業執行概要

保育所保育指針及び宝木保育園の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を考慮した保育サービスの提供を図るとともに、地域に開かれた施設として、子育て相談や親子の交流の場の提供及び実習生の受入れ等を実施した。

新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の5類感染症に位置付けられたことから、検温や換気、消毒等感染対策を継続しながらも、園児、保護者、職員ともにマスクの着用は個人の判断としたところ、お互いの表情が見えるようになり、園児の健康観察もしやすくなった。

感染防止対策を行いながら保護者参加の行事を実施するにあたり、運動会やクリスマス発表会については、クラスごとの完全入替制とした。屋外開催の幼児運動会については、観覧者数の制限をせずに行った。

また、ボランティアの受入れを再開し、シルバーボランティアによる図書の貸出しや、お正月遊び、人間雑居撮影の行事で協力を受けたほか、宇都宮中央高校の学生ボランティアの受入れも行い、園児へ手作り遊具や遊びの提供を受けた。

乳児保育については、保育士との愛着形成のため、ゆるやかな担当制保育を行った。また、園児が遊びを自ら選択できるよう、保育室内の環境設定を工夫した。

太陽光発電システムを園舎とサロン棟に設置し、園児が見える場所に発電量をグラフや数字で表示するモニターを設置したことで、園児が環境について考えるきっかけとした。

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

- 保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底
- 家庭保育に対する理解と関心を深める機会としての保育体験の実施
- リトミック、体操、英語、サッカーの各教室の実施
- 野菜作りや講座を通じた食育の実施
- 安全な食事提供を目的とした日々の食材管理や放射性物質検査の実施
- ゆるやかな担当制保育の導入による愛着形成及び子どもの主体性を育む保育の実施
- 保育活動を撮影した写真（保育ドキュメンテーション）の掲示による保育内容公開の実施
- 感染症版及び自然災害版の事業継続計画（BCP）の策定

② 自主自立経営の確立

- 多様な保育ニーズに対応した延長保育、休日保育及び一時保育の実施
- 乳幼児の積極的な受入れ

③ 地域社会への貢献

- 一時的に保育を必要とする保護者に対する支援としての一時保育の受入れ
- 県立聾学校幼稚部との交流（作品展示）や、小学校との交流（学校生活を紹介する絵の贈呈）
- 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施

(2) 事業実績

ア 保育所 利用定員 160 名

区分 \ 年度別	令和 4 年度			令和 5 年度		
	合計 (人)	平均(人/月)	稼働率 (%)	合計 (人)	平均(人/月)	稼働率 (%)
0 歳児	197	16.4		205	17.1	
1 歳児	359	29.9		323	26.9	
2 歳児	356	29.7		342	28.5	
3 歳児	360	30.0		360	30.0	
4 歳児	360	30.0		360	30.0	
5 歳児	360	30.0		357	29.8	
合計	1,992	166.0	103.8	1,947	162.3	101.4

イ 入退所及び年度末の利用者の状況

(人)

区分 \ 年度別	令和 4 年度			令和 5 年度		
	入所者数	退所者数	3 月 31 日現在 利用児数	入所者数	退所者数	3 月 31 日現在 利用児数
0 歳児	19	1(1)	21	22	1	22
1 歳児	14	1	30	8	2(1)	26
2 歳児	0	1	29	2	6(2)	28
3 歳児	0	0	30	1	0	30
4 歳児	0	0	30	0	0	30
5 歳児	0	30(30)	30	1	31(30)	30
合計	33	33(31)	170	34	40(33)	166

注) () 内は、3 月 31 日付け退所者の再掲

ウ 休日保育

区分	令和4年度	令和5年度
年間延利用児数（人）	475	449
実人数（人）	25	29
開所日数（日）	67	73

エ 延長保育

区分	令和4年度	令和5年度
年間延利用児数（人）	1,747	1,602
実人数（人）	74	80
開所日数（日）	222	229

オ 一時保育

区分	令和4年度	令和5年度
年間延利用児数（人）	1	18
実人数（人）	1	5
開所日数（日）	203	243

カ 地域子育て支援拠点事業

区分	令和4年度	令和5年度
年間延利用者数（人）	3,265	6,757
開所日数（日）	188	198

キ 実施行事

時期	内 容	
4 月	○入園式	○進級式
5 月	○こどもの日のお祝い	○親子遠足 (3、4 歳児)
6 月	○保護者体験保育 (1 月まで)	○聾学校との交流 (5 歳児) ○遠足 (5 歳児)
7 月	○プール開き	○七夕まつり ○夏まつり
8 月	○宇都宮百年花火 (5 歳児花火の絵出展)	
9 月	○ブレックスタシアダンス体験 (4、5 歳児)	○乳児運動会 (0、1 歳児)
10 月	○運動会 (2、3、4、5 歳児) ○修園旅行 (5 歳児)	○食育遠足 (3、4、5 歳児) ○下野教育美術展出展 (5 歳児)
11 月	○観劇会 (人形劇) ○防犯教室 (3、4、5 歳児)	○マラソン大会 (3、4、5 歳児)
12 月	○クリスマス発表会	○観劇会 (人形劇)
1 月	○お正月あそび (3、4、5 歳児) ○卒園記念製作陶芸教室 (5 歳児)	
2 月	○節分 ○新入園児説明会及び面接	○保護者との個人面談
3 月	○人間雑撮影 ○ひなまつり ○卒園式	○新入園児説明会及び面接 ○はなぐみお別れ会 (5 歳児) ○交通安全教室 (3、4、5 歳児)
定例	○誕生会 (月 1 回) ○英語教室 (年 10 回) ○サッカー教室 (年 4 回) ○保健 (保健日より年 3 回発行)	○リトミック教室 (年 9 回) ○体操教室 (4・5 歳児年 5 回、2・3 歳児年 10 回) ○食育 (食育講座・食育日より年 2 回発行)

ク 実習等の受入れ

(ア) 保育実習 (学生) 14 名 (作新学院大学女子短期大学部、佐野日本大学短期大学、独立行政法人国立病院機構栃木医療センター看護学校)

(イ) わくわく保育園体験受入れ 0 歳児 3 組 6 名 1 歳児 3 組 6 名 2 歳児 1 組 2 名

Ⅲ 生きがい健康部所管事業

1 事業執行概要

(1) 生きがいづくり課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営及び高齢者生きがいづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「はつらつプラン 21（8期計画）」や「とちぎ健康 21 プラン（2期計画）」に沿った生きがいづくり事業を実施した。

また、とちぎ生きがいづくりセンター県南支所・県北支所の施設管理について、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、敷地内緑地や施設及び設備の適正な維持管理に努めた。

事業運営において、シルバー大学校では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に引き続き留意しながら学校運営に努めた。

令和5年度は、学校運営の質の向上を目指し、在校生に対する授業に関するアンケート及び学校運営に関するアンケートの実施に加え、卒業生に対しては、卒業後の社会活動の状況を把握するためのアンケートを実施した。また、シルバー大学校のホームページをリニューアルするとともに、X（旧 Twitter）アカウントを開設し、授業の様子や学生生活について積極的に発信した。さらに、シルバー大学校の魅力をわかりやすく伝えるために、シルバー大学校のリーフレット『学校案内』の見直しを行った。

全国健康福祉祭（ねんりんピック）の予選会の位置づけである、ねんりんピックとちぎ 2023 を開催し、愛媛県で開催された第 35 回全国健康福祉祭えひめ大会に栃木県選手団を派遣した。

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

○ シルバー大学校の運営

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上での学校活動の実施
- ・学生全員に対するオンライン体験授業の実施
- ・在校生に対する学校運営に関するアンケートの実施
- ・卒業生に対する卒業後の社会活動状況に関するアンケートの実施
- ・ホームページ及びシルバー大学校学校案内の内容見直し、X（旧 Twitter）アカウントの開設

○ ねんりんピックとちぎ 2023 の開催

- ・スポーツ・文化交流大会（16 種目 参加者 1,764 名）

- ・シルバー作品展（6部門 出展数 149点）
- 第35回全国健康福祉祭えひめ大会への選手団派遣
 - ・派遣選手団（19種目 138名）
 - ・美術展（出展数 12点）
- 介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修受講試験の実施
 - ・令和5年10月8日実施
- 介護支援専門員（ケアマネジャー）の各種法定研修の実施
 - ・令和5年6月から令和6年3月まで実施
 - ・オンライン研修と集合研修の同時開催のハイブリッド形式による研修の実施
- ② 自主自立経営の確立
 - シルバー大学校入学生増に向けた取り組み
 - ・学校案内の内容見直しやX（旧 Twitter）アカウントの開設によるシルバー大学校の魅力の発信の強化
 - 賛助会員の増加への取組
 - ・イベント「とちぎ健康の森フェス 2023」における展示ブースの提供
- ③ 地域社会への貢献
 - 情報誌「いきいきとちぎ」の発行による高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報提供
 - 発行回数：年4回
 - 配布先：市町、関係機関、公民館、病院、薬局等（無料配布）
 - シルバー大学校卒業生や地域の人を対象に、世代間交流や放課後学習支援を目的とした地域活動を行うための備品の無料貸出

(2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行った。

特に、「とちぎ健康 21 プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施した。

また、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設及び設備の維持管理に努めるとともに、とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいづくりセンターの広報活動や施設の利用及び貸出に係る個人情報の保護に配慮した。

事業運営においては、新型コロナウイルス感染症により減少した利用者数の回復のため、LINEの公式アカウントなどからの広報、情報提供を強化するとともに施設利用講習、各種講座のインターネット予約など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努めた。

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

- 新型コロナウイルス感染対策に配慮した施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施（集団指導や講座等のインターネット予約の運用）
- 地域や団体等に出向いた講座や研修会の実施
 - ・企業、団体等と連携した働く世代の健康づくり講座、レッスン等の実施
 - ・市町職員等の健康づくり活動を支援する研修会の実施
- 利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制での支援
- 健康づくりに関する相談や情報発信、普及啓発
 - ・情報提供コーナーを設置し、月別テーマの掲示・ホームページ掲載
 - ・ホームページの活用（自宅で健康づくり、とちぎ健康の森だより、健康情報コーナー）
- 建物及び設備の定期点検、保安警備及び敷地内緑地管理等の維持管理の実施
 - ・施設の大規模改修工事（県予算）に伴う県、関係機関との連絡調整及び対応
 - 本館空調電気設備改修工事（長寿命化）（工期：令和5年10月～令和7年7月）
- 省エネルギーの取組として既存照明機器等のLED化の実施
- 災害、事故等の危機管理対策としての防災訓練（日中及び夜間）の実施
- 利用規定の掲示やパンフレットでの周知による公平な施設の利用の確保
- ホームページへの施設の予約状況の掲載による利用者の利便性の向上
- サービス向上委員会の開催による利用者アンケートの分析等、利用者ニーズの把握
- 利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営の実施
 - ・プール及びトレーニング室におけるリアルタイムの混雑状況をホームページ、LINE公式アカウントに掲載
 - ・LINE公式アカウントの運用による最新情報やイベント情報配信の強化
 - ・施設予約及び施設利用講習や集団指導・各種講座のインターネット予約の運用
 - ・施設利用カード更新の案内周知及び更新時の申告内容に応じた面接実施
 - ・プリペイドカード特典の継続

- ・企業等への利用チケット制の実施及び提案
- ・利用料コンビニ・スマホ収納サービスの実施
- ・プール、トレーニング室の利用促進キャンペーンの実施及びオリジナルグッズの有償頒布
- とちぎ健康づくりセンター主催イベントの実施
 - ・とちぎ健康の森フェス 2023 の実施

② 自主自立経営の確立

- アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の実施による利用者の確保
 - ・施設利用者の運動目的、達成度の調査、検証による利用者の確保
- 継続利用に向けた仕組みづくり（運動メニューの作成や集団指導、簡易測定）
- 電力、ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制、省資源及び省エネルギーの取組

③ 地域社会への貢献

- 電話や来訪による随時の健康相談の実施
- 地域の学校からの職場体験の受入
- 災害時に対応した自衛消防組織及び県や関係機関との連絡・協力体制の整備
- 県内看護大学の実習の受入
- 家庭の日に親子を対象とした運動フロアの無料開放

(3) 生きがい就労課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識、技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するため実施した次の事業について支援を行った。

① シルバー人材センター事業

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援した。

② 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センターでの就業を希望する高齢者を対象に、様々な技能講習を実施し、就業機会の拡大を図った。

2 事業実績

(1) とちぎ健康づくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
大会議室			1,362	1,141	113.5	95.1
小会議室			413	815	34.4	67.9
多目的フロア	A全面		1,016	761	55.3	63.4
	A2/3面		3	5	0.3	0.4
	A1/2面		51	44	3.6	3.7
	A1/3面		0	13	0	1.1
	B		488	447	13.3	37.3
	C		663	566	24.4	47.2
	計		2,221	1,836	96.7	153.0
エアロビクススタジオ			1,073	1,379	89.4	114.9
運動フロア	全面		0	214	0	17.8
	1/2面		0	243	0	20.3
	1/3面		0	379	0	31.6
	1/6面		0	43	0	3.6
	計		0	879	0	73.3
合計			5,069	6,050	334.3	504.2

イ 施設利用者

(人)

区分		項目	年間利用者数		月平均利用者数	
			令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
施設利用講習	大人		1,452	1,717	121.0	143.1
	小人		191	219	15.9	18.3
	計		1,643	1,936	136.9	161.3
施設利用カード更新	更新者数		1,428	1,444	119.0	120.3
	面接者数 (再掲)		661	503	55.1	41.9
体力測定			159	252	13.3	21.0
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム			47,770	63,975	3980.8	5331.3
合計			51,000	67,607	4250.0	5633.9

ウ 健康づくり事業

(上段：人、下段：回)

区分		項目	年間利用者数		月平均利用者数	
			令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
施設利用講習	受講者数		1,643	1,936	136.9	161.3
	実施回数		182	192	15.2	16.0
体力測定	受検者数		159	252	13.3	21.0
	実施回数		135	139	11.3	11.6
簡易測定	受検者数		9	13	0.8	1.1
	実施回数		17	21	1.4	1.8
健康づくり講座	受講者数		969	1,057	80.8	88.1
	実施回数	12種 84	12種 84		7	7
集団指導	受講者数		9,299	12,713	774.9	1059.4
	実施回数	22種 584	22種 560		48.7	46.7
計	受講者数等		12,079	15,971	1006.6	1330.9
	実施回数		1,002	996	83.6	83.1

(2) とちぎ生きがいづくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
中央支所	講堂		318	376	26.5	31.3
	演習室A		213	185	17.8	15.4
	演習室B		245	435	20.4	36.3
	多目的ホール		336	300	28.0	25.0
	教室A		249	216	20.8	18.0
	教室B		203	258	16.9	21.5
	教室C		268	229	22.3	19.1
	教室D		97	168	8.1	14.0
	教室E		9	35	0.8	2.9
	教室F		512	296	42.7	24.7
	和室		70	72	5.8	6.0
	テニスコート		3,196	5,656	266.3	471.3
	計		5,716	8,226	476.3	685.5

(時間)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
県南支所	教室A	168	130	14.0	10.8	
	教室B	0	2	0	0.2	
	教室C	235	208	19.6	17.3	
	教室D	104	84	8.7	7.0	
	教室E					
	教室F	203	215	16.9	17.9	
	演習室					
	和室	282	270	23.5	22.5	
	屋外運動場					
	講堂兼体育館	0	2	0	0.2	
	計	992	911	82.7	75.9	
県北支所	教室A	207	170	17.3	14.2	
	教室B	112	123	9.3	10.3	
	教室C	124	128	10.3	10.7	
	教室D	161	185	13.4	15.4	
	教室E	116	149	9.7	12.4	
	教室F	110	123	9.2	10.25	
	演習室	89	106	7.4	8.8	
	和室	38	65	3.2	5.4	
	多目的ホール	70	128	5.8	10.7	
	計	1,027	1,177	85.6	98.1	
合計		7,735	10,314	644.6	859.5	

イ 栃木県シルバー大学校学生数 (令和6年3月31日現在)

(人)

学校名(期別定員)	期別	43期生			44期生			合計		
	性別	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
中央校(320)		91	114	205	91	135	226	182	249	431
南校(120)		49	55	104	44	51	95	93	106	199
北校(120)		24	32	56	22	52	74	46	84	130
合計(560)		164	201	365	157	238	395	321	439	760

(3) ねんりんピックとちぎ及び全国健康福祉祭

事業名	実施日	実施会場	実施内容
ねんりんピックとちぎ 2023 スポーツ・文化交流大会	令和 5 年 4 月 20 日 ～令和 5 年 6 月 4 日	栃木県内 各市町	19 種目中 16 種目実施 (2 種目中止、1 種目未実施)
ねんりんピックとちぎ 2023 シルバー作品展	令和 5 年 5 月 31 日 ～令和 5 年 6 月 4 日	とちぎ健康の森	シルバー作品展審査会 (令和 5 年 5 月 30 日 6 部門)
第 35 回全国健康福祉祭 えひめ大会	令和 5 年 10 月 28 日 ～令和 5 年 10 月 31 日	愛媛県内 20 市町村	スポーツ交流大会 10 種目 ふれあいスポーツ交流大会 7 種目 文化交流大会 2 種目 計 19 種目

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	令和 4 年度	令和 5 年度
実施日	令和 4 年 10 月 9 日	令和 5 年 10 月 8 日
申込者数 (人)	810	794
受験者数 (人)	723	716
合格者数 (人)	122	161
合格率 (%)	16.9	22.5

(5) 介護支援専門員研修

年度別 研修名	令和 4 年度		令和 5 年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
介護支援専門員実務 研修	令和 4 年 12 月～ 令和 5 年 3 月	受講者数 121 修了者数 119	令和 5 年 12 月 ～令和 6 年 3 月	受講者数 153 修了者数 148	介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対する研修
介護支援専門員 専門研修 (専門研修課程Ⅰ)	令和 4 年 6 月～8 月	受講者数 66 修了者数 64	令和 5 年 6 月～8 月	受講者数 54 修了者数 54	就業後 6 ヶ月以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員 専門研修 (専門研修課程Ⅱ)	令和 4 年 8 月～11 月	受講者数 103 修了者数 101	令和 5 年 7 月～11 月	受講者数 103 修了者数 101	就業後 3 年以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修

年度別 研修名	令和4年度		令和5年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
主任介護支援専門員 研修	令和4年12月～ 令和5年3月	受講者数 75 修了者数 74	令和5年12月 ～令和6年3月	受講者数 77 修了者数 76	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技能を修得する研修
介護支援専門員更新 研修 (実務未経験者)	令和4年12月～ 令和5年3月	受講者数 81 修了者数 69	令和5年12月～ 令和6年3月	受講者数 54 修了者数 48	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、専門職として能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新 研修 (実務経験者)	令和4年 6月～11月	受講者数 331 修了者数 324	令和5年 6月～11月	受講者数 314 修了者数 300	
介護支援専門員再 研修	令和4年12月 ～令和5年3月	受講者数 99 修了者数 105	令和5年12月～ 令和6年3月	受講者数 122 修了者数 121	介護支援専門員として必要な知識、技能の再修得を図る研修
主任介護支援専門員 更新研修	令和4年 9月～11月	受講者数 153 修了者数 150	令和5年 8月～12月	受講者数 140 修了者数 139	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たすために必要な能力の保持・向上を図る研修
合計		受講者数 1,029 修了者数 1,006		受講者数 1,017 修了者数 987	

注) ・新型コロナウイルス感染症対策により、オンライン研修を導入

・更新研修(実務未経験者)及び再研修について、研修修了日の取扱いにより一部修了区分を変更している。

IV 評議員会・理事会の開催状況

1 評議員会

回数	開催年月日	区分	内容
第75回	令和5年 4月1日	決議の省略	役員を選任について
第76回	令和5年 6月23日	議事	第1号 令和4年度とちぎ健康福祉協会決算について 第2号 役員を選任について
		報告	第1号 令和4年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 第2号 桜ふれあいの郷障がい者支援センターふれあいの建替整備について
第77回	令和6年 3月26日	議事	第1号 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会定款の変更について 第2号 とちぎ健康福祉協会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
		報告	第1号 とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）の策定について 第2号 令和6年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 第3号 令和6年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について

2 理事会

回数	開催年月日	区分	内容
第108回	令和5年 4月1日	決議の省略	理事長を選定について
第109回	令和5年 6月8日	議事	第1号 令和4年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 第2号 令和4年度とちぎ健康福祉協会決算について 第3号 桜ふれあいの郷障がい者支援センターふれあいの建替整備計画について 第4号 基本財産の取得について 第5号 令和5年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第6号 第35回全国健康福祉祭えひめ大会栃木県選手団派遣業務に係る契約締結の方法等について 第7号 役員候補者について 第8号 第76回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について
		報告	第1号 予備費の使用について 第2号 理事長及び常務理事の職務執行状況について
第110回	令和5年 6月23日	議事	第1号 理事長を選定について 第2号 常務理事を選定について 第3号 評議員候補者の選任について 第4号 とちぎ健康福祉協会評議員選任・解任委員会の開催について

第111回	令和5年 12月8日	議事	<p>第1号 令和5年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について</p> <p>第2号 とちぎ健康福祉協会組織規程の一部改正について</p> <p>第3号 桜ふれあいの郷及び清風園の電気受給契約締結の方法等について</p> <p>第4号 とちぎ健康の森中央監視・設備運転等業務に係る契約締結の方法等について</p> <p>第5号 とちぎ健康の森清掃業務に係る契約締結の方法等について</p> <p>第6号 とちぎ健康の森受付業務に係る契約締結の方法等について</p> <p>第7号 とちぎ健康の森警備業務に係る契約締結の方法等について</p> <p>第8号 とちぎ健康の森外構庭園管理業務に係る契約締結の方法等について</p> <p>第9号 栃木県シルバー大学校教材用パソコン等導入業務に係る契約締結の方法等について</p>
		報告	<p>第1号 とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいつくりセンターの指定管理者の公募に係る対応について</p> <p>第2号 理事長及び常務理事の職務執行状況について</p>
第112回	令和6年 3月19日	議事	<p>第1号 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会定款の変更について</p> <p>第2号 とちぎ健康福祉協会組織規程の一部改正について</p> <p>第3号 とちぎ健康福祉協会キャリアパス等級規程の一部改正について</p> <p>第4号 とちぎ健康福祉協会人事考課規程の一部改正について</p> <p>第5号 とちぎ健康福祉協会職員の給与等の支給に関する規程の一部改正について</p> <p>第6号 とちぎ健康福祉協会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について</p> <p>第7号 とちぎ健康福祉協会嘱託職員就業規程の一部改正について</p> <p>第8号 役員等賠償責任保険契約について</p> <p>第9号 とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）の策定について</p> <p>第10号 令和6年度とちぎ健康福祉協会事業計画について</p> <p>第11号 令和6年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について</p> <p>第12号 令和5年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について</p> <p>第13号 第36回全国健康福祉祭とっとり大会栃木県選手団派遣業務に係る契約締結の方法等について</p> <p>第14号 事務局の長の任免について</p> <p>第15号 役員候補者の選任について</p> <p>第16号 評議員候補者の選任について</p> <p>第17号 とちぎ健康福祉協会評議員選任・解任委員会の開催について</p> <p>第18号 第77回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について</p> <p>第19号 第78回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について</p>
		報告	<p>第1号 とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいつくりセンターの指定管理者候補者への選定について</p> <p>第2号 とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいつくりセンターの指定管理業務の実施に当たっての委託業務に係る入札の結果について</p> <p>第3号 桜ふれあいの郷障がい者支援センターふれあいの建替整備について</p>